
赤潮注意報(シャットネラ マリーナ)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年6月27日

鹿児島湾 赤潮注意報 No.1

[1] 6月27日の調査結果

本日の調査の結果、ほとんどの調査定点でシャットネラ マリーナを1~26cells/ml, 1確認しました。またデイクチオカ フィブラの無骨格タイプ (旧: 球形シャットネラ) を5~102cells/ml確認しました。
 珪藻類は全体的に多い状況でした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

シャットネラ マリーナは鹿児島湾奥部において、6月上旬~中旬に赤潮を形成したところですが、本日の調査ではほぼ全調査海域で1~26cells/ml確認されました。

珪藻類は全体的に多い状況ですが、これまでの降雨により塩分はやや低くなっており、今後の状況変化によっては、シャットネラ マリーナが増殖する可能性もあるので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に漁場周辺の採水・検鏡を行い、本種の有無など漁場環境の把握に努めるとともに、状況により餌止めを実施する等、十分な注意が必要です。

なお、デイクチオカ フィブラの無骨格タイプについては、100cells/ml以上確認された地点もありました。本県では単独で赤潮化したことはありませんが、他県では養殖魚の餌食いの低下やへい死等の悪影響が報告されていますので、注意が必要です。

